

単元案の概要

テーマ
My Home Town (CE1/CE2) /Наш любимый город (はじめてのロシア語)
目標
学習レベル (CE1/CE2: 3、はじめてのロシア語: 1) ○ 自分の町のいいところをアメリカから来た ALT の先生に英語で紹介することができる。 それについて質疑応答できる。(CE1/CE2) ○ ロシアの研修員の方に、「自己紹介」及び「自分の町のいい所」をロシア語で紹介することができる。自分の町のよさを紹介し、ロシアではどうかという質問に答えてもらい、相互理解を深める。(はじめてのロシア語)
コミュニケーション能力指標
地域社会と世界 1-a 自分の住んでいる町や都市と国の名称を、言ったり書いたりできる。 1-e 自分の住んでいる町や都市の有名な場所や食べ物等を言うことができる。 2-a 自分たちの住んでいる町や都市について紹介する簡単な資料を作ることができる。 2-b 自分の住んでいる町や都市に対して思っていることを、話すことができる。 行事 1-a 行事の名称・月日を、言ったり尋ねたりできる。 3-c 日本の行事の由来や意味・一般的な過ごし方について、口頭や文章で説明することができる。 食 3-c 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理について口頭または文章で紹介できる。 自分と身近な人びと 1-a 名前(姓名)や属性(高校生であること、学年、年齢、誕生日)を言ったり、尋ねたりできる。 1-b 家族構成(何人家族で誰がいる)について、会話したり、書いて説明したりできる。 1-c 簡単な自己紹介(住んでいる所、好きなこと、趣味など)を口頭や書いてすることができる。 3-b 好きなこと・人について、その理由を含めて、口頭や書いて紹介しあうことができる。 3-c 自分の経験について、語りあったり、書いて伝えることができる。 自然環境 1-a 天気についてよく言う言い回しを使って、あいさつを交わすことができる。 趣味と遊び 1-c どんなこと(スポーツ、映画、読書)をするのが好きか、口頭で紹介し合うことができる。 交通と旅行 1-b 観光名所やおすすめのお土産を、尋ねることができる。

学習シナリオ

昨年に引き続きロシア船交流訪問活動を実施したいと考えていたが、ロシア船の伏木港への寄港がないので、別の活動を計画する。

ちょうど英語の授業で世界遺産についての読み物を読み、また、次回ロシア船訪問をするなら生徒たちが自身をもって話すことができる「自分の町、町の行事、名物」等の紹介をしたいと考え、また今夏の「めやすマスター研修」において、自分たちのグループは「名物紹介」についてプランを立てていたので、今回それを実施することにした。

せっかく、紹介するというので、今夏はじめて富山を訪れられた県研修員のウリヤナさん(ロシア人)を学校へ招待し、生徒たちのロシア語のプレゼンテーションの聞き手になっていただくことにした。

また、同じプランで、やはり今夏日本にこられた本校アメリカ人 ALT アメリ先生に英語のプレゼンテーションに聞き手になっていただくことにし、同プランの授業を英語、ロシア語で実施することにした。

「目標、実施計画、実施内容」の書いてありワークシートを英露版両方準備し、紹介する場所が同じであれば、グループ活動にして、グループで紹介内容を分担しプレゼンの準備をする。使用する画像を教師の PC に送付、また、実物なども準備する。教師側で PP を作成し、評価基準を意識させ、暗記をしてプレゼンできるよう練習させる。

ウリヤナさん、アメリ先生にそれぞれプレゼンを聞いてもらい、簡単な質疑応答をする。

と同時に、実物を体験したり、味わったりして楽しい時間を過ごす。

授業の感想を書かせ、授業の振り返りをする。

総括的評価

- グループまたは個人で紹介するテーマを決める(分担する)。(ワークシート利用)
- 何を紹介するか内容をまとめ当外国語に直し、教師側で添削した後、発表の練習及び暗唱する。同時に発表に必要な道具(画像、動画、実物等)を準備する。
- 本番で発表し、聞き手や、他参加者による質問に答える。
- 生徒自身による自己評価や生徒同士の相互評価を行い、その結果を参考とする。

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介、自分の町紹介のテーマ毎プレゼンテーションに必要な語彙・表現を学習し理解する。 会話を円滑に進める態度を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の町の紹介で、何を紹介すべきか、何が聞き手の興味を引くか、何を詳しく聞きたいか判断し、取り上げる。 プレゼンに対する相手の反応から、自国文化との異なりを考え、推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで紹介する内容を決めたり、分担する。 話したい内容について、ネットや図書館等の様々な手段を講じ、調べる。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介をしたり、自分の町を紹介したり、テーマ毎のプレゼンについて簡単な説明を書き、発表することができる。 暗唱してプレゼンしようと努力する。 自己紹介や様々な言語・非言語ストラテジーを駆使してプレゼンをすることができる。 簡単なお礼のメールを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の町について、興味深い内容を取り上げ、話す内容を厳選し、それについて話し合えるようなテーマを考え、プレゼンをすることができる。 話すときには相手の目を見て、道具を用いて分かりやすく話すことができる。 プレゼンの感想から文化の多様性、自文化を比較・考察し、再認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑にグループ活動ができる。 使用する画像や動画等を、教師側にメールで送付することができる。 画像、動画、実物等の工夫をすることができる。 工夫したものを利用し、わかりやすい発表をすることができる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したことについて聞き手の質問に答えることができる。 コミュニケーションを通じ、聞き手と良好な関係を築くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の反応により、話し方や提示の仕方を変化させる事ができる。 質疑応答することにより、文化の違いを克服しつながる。 聞き手が何について興味を持っているのかを実際聞いてみて、その取り上げ方について互いに話し合ったり、議論したりする。 相手の反応や質問を推測し、前もってそれに対する対応を考えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 工夫したものや発表で、聞き手になるほどを思わせる。 仕えたいという情熱を感じてもらう。 聞き手にやさしい(わかりやすい)発表を心がけることができる。 自他共に振り返ることができる。(他者の発表に対して質問したり、意見や感想を述べたりできる。)
三連携	連携1:・自分たちで聞き手を意識したプレゼンのテーマを選ぶ ・聞き手に伝わるよう、積極的にプレゼンの練習をする 連携2:・これまでの言語材料を活かし、自己紹介やテーマ毎のプレゼンを作成する ・プレゼンは天気、時事問題、食、言語比較、行事など、様々な分野に関連させる 連携3:・県研修員(ロシア人)・ALTとの連携 ・インターネット、図書館などでのリサーチ		

評価ルーブリック

テーマ: My Home Town/Наш любимый город (わたしの町)

指示文: これから当外国語による「わたしの町紹介」のプレゼンテーション(発表・評価)を行います。

グループ発表であれば、メンバー全員がそれぞれ自分のテーマを分担し、各自それぞれのテーマで発表しなさい。

その際、1. 聞き手に分かりやすくするため、画像、動画、実物などを準備するなどの工夫をする。

2. よさを感じてもらえるように、テーマを選び、語彙が限られているので、話す内容を厳選する。

3. 聞き手に分かりやすい発表(声の大きさ、発音の明瞭さ、サービス精神を持って)を心がける。

評価基準		4 非常に素晴らしい 	3 すばらしい 	2 もう少し 	1 まだまだがんばれ 
評価	発表の内容	内容が豊富で魅力的。記述が正確で、非常にわかりやすい。	内容が豊富で、記述がほぼ正確でわかりやすい。	内容が少し不足。記述に少し不正確なところやわかりにくいところがある。	内容に不足が多い。記述に不正確なところやわかりにくいところがある。
	アイ・コンタクト、わかりやすさ・声の大きさ	聴衆と常にアイ・コンタクト。はっきりした大きな声。ノートやメモに頼ることもない。	聴衆とアイ・コンタクト。声もはっきり。ノートやメモに頼ることは少ない。	ときどきアイ・コンタクト。声が小さくなることあり。ノートやメモを読んでいることが多い。	アイ・コンタクトなし。声が小さい。常にノートやメモを読みながら話す。
	発表の工夫	写真や動画、小道具(実物)の使用が効果的。	写真や動画、小道具の使用が適切。	/	
	発表におけるコミュニケーションストラテジー	/		必要な場合使っているが、成功する場合もあれば失敗しているものもある。	うまく使えていない。ストラテジーを持っていない。
評価の得点		/15			

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
<ul style="list-style-type: none"> あいさつや時勢に関わる語彙や表現を理解し、使うことができる。 自分の意見を述べ、相手の意見を聞いたり、質問に答えたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、天気や季節について話したり、質問することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流相手にあいさつや自己紹介ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 富山に新しく来た外国人に、富山の名産品や観光地を案内して、交流を深め、楽しんでもらう。 (対象:ロシア人国際交流員と本校アメリカ人ALT)
<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のさまざまなトピックに関わる語彙や表現を理解し、使うことができる。また、相手に対し質問したり、相手からの質問に答えたりすることができる。 *言語活動の例(ワークシート参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前、住んでいる所、好きなものについて話したり、相手に質問することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> グループを作り、各自の発表内容を分担する。 各自原稿を作成すると同時に、どのように提示すればよいか工夫し、PP作成の資料を準備したり、実物を準備したりする。 語彙が限られていることもあり、分かりやすい表現で発表できるよう、内容を厳選する。 PPなどと合わせて発表練習をし、なるべく原稿を見ずに発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 富山の何について紹介するのかグループで話し合い、それに向けて準備することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 富山の名産品を紹介したり、観光案内することができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 画像、動画、実物等を準備し、分かりやすく、楽しく発表できるよう工夫する。 自分の住んでいる所のよさをわかってもらい、訪れてみたいという気持ちになるよう、気持ちをこめて発表する。 *言語活動の例(ワークシート参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 町の観光や行事、名産品を紹介し、相手に好印象をあたえることができる。 		

“Home Town”プレゼンテーション評価 及び 個人的特性に対する対応 (2クラスのみ)

クラス	名前	内容/4	プレゼン/4	工夫/4	ストラテジ/3	total/15	生徒間評価	個人の特性	対応
CE I	ゆうと	4	2	1	2	9	よかった順		
CE I	まさと	4	2	1	2	9			
CE I	いちろう	4	2	4	3	13	5	困難	
CE I	れお	4	1	1	1	7		たいへん困難	やさしく、わかりやすく提示。
CE I	こてつ	4	3	1	3	11	3		
CE I	れいな	4	4	4	3	15	3	能力あり	
CE I	ゆみ	4	4	3	3	14	3	ブラジル人。言語感覚がするどい。	他生徒によい刺激になり、よい影響を与えてくれるよう働きかける。
CE I	えりか	4	4	4	3	15	1	意欲的	
CE I	りお	4	4	3	3	14	2	意欲的	
CE I	しき	4	3	1	2	10	5	少し困難	
CE I	れいか	4	4	4	3	15	4	意欲あり	
CE I	ひな	3	3	1	2	9		休みがち	
ロシア語	けんのすけ	4	4	4	3	15		意欲的	
ロシア語	けんや	4	3	4	3	14		能力あり	
ロシア語	りさこ	3	2	1	3	9			
ロシア語	あゆみ	2	2	0	3	7		ブラジル人。言語感覚がするどい。即対応。異文化を認識する感覚に優れている。能力高。	日本人とは違う文化背景、言語感覚を持っているので、授業が活性化しおもしろくなる。(社会人の方も同意) 準備がなくても即反応できる。
ロシア語	はふあ	2	2	0	3	7		ブラジル人。言語感覚がするどい。即対応。異文化を認識する感覚に優れている。継母ロシア人?	日本のことについて言及するとき、彼らの文化背景も尊重し、ブラジルの話題についても取り上げる。
ロシア語	はるか	3	3	4	2	12			
ロシア語	ようこさん	4	4	3	3	14		社会人	
ロシア語	なかせさん	4	4	4	3	15		社会人	